

力を合わせて

令和8年7月6日



もうすこし…



倒れないようにしっかり支えています。

朝一番で出て遊ぶ園庭にはワクワクがいっぱい。いつもは地面の上や中の虫を集中して探している子どもたちが、この日は木の上をじっと見つめ「先生！見て！！」と呼ぶ声が聞こえ傍に行ってみると…3匹のカブトムシが！！下の方にいた雌のカブトムシはシャベルで簡単に捕獲出来たのですが、最後の一匹雄のカブトムシは保育者の背の高さよりも高く子どもたちでは難しそう…。

どうするか傍で様子を見てみると、子どもたちの頭の中はフル回転！！

「抱っこしてみよう！」「木を揺らすのはどう？」

どれもやってみたけれどうまくいかず…。

普段は一段だけで使う台を今回は重ねて乗ってみようとする
とユラユラ…ガタガタ…どうもバランスが悪い。

「わかった、押さえてるよ！」

「あ！いいかんじ！そのままね！」「よし！！届いた！！」子ども達同士でどうやったら捕まえられるのか考え色々試していましたよ。カゴを重ねて危険そうな場面も見られましたが、すぐに手を貸したり声を掛けるのではなく、いつでも助けられる位置に保育者は座り見守っていました。

自分たちで考えて試してやってみる。その体験ができる場を保育者が支えながら大切にしていきたいです。